

スキンド이버・スノーケラーを対象としたサンゴ礁保護プログラムの開発と導入の検討



鈴木倫太郎¹⁾・²⁾・大槻 祥久³⁾

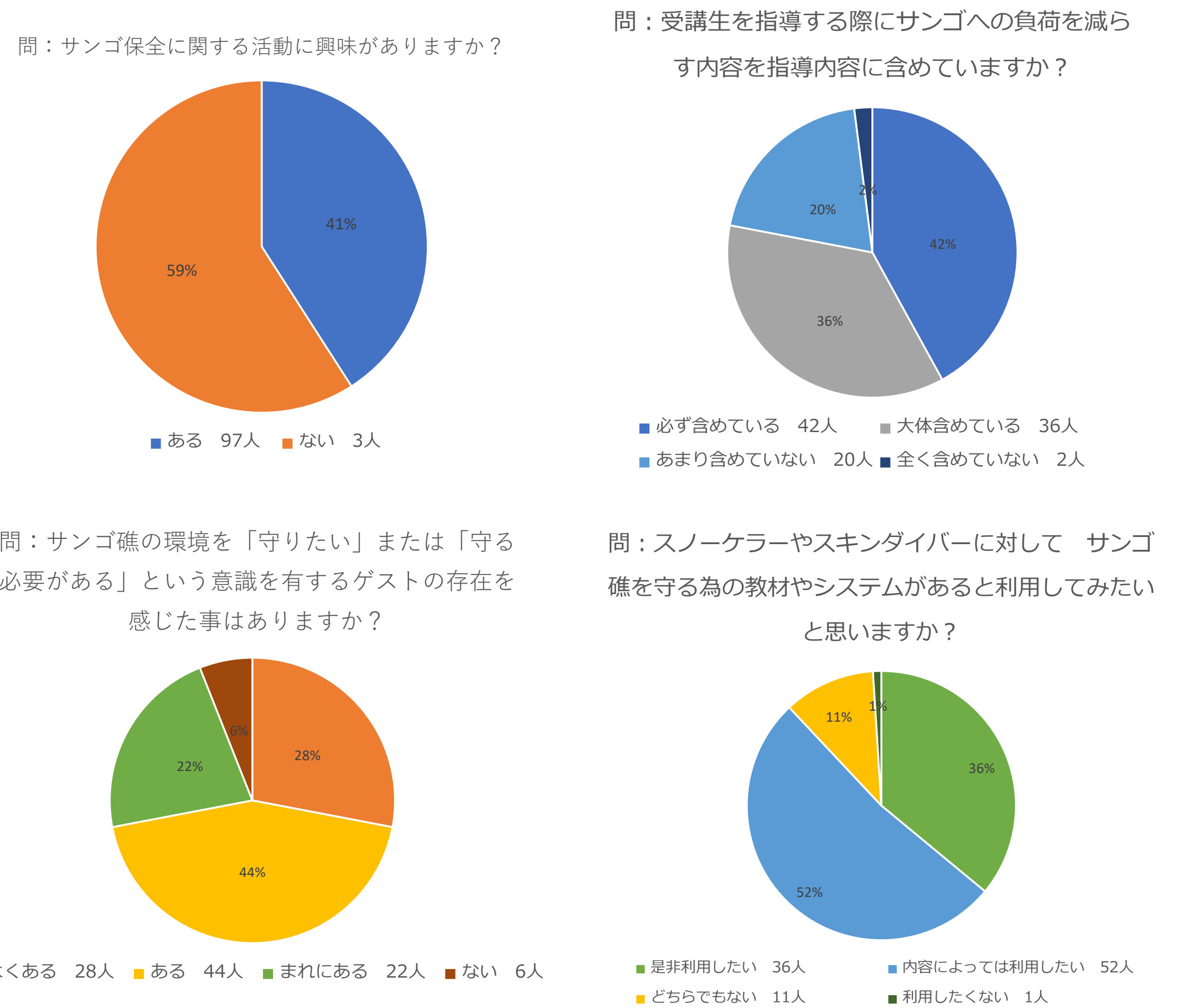
¹⁾喜界島サンゴ礁科学研究所 ²⁾駒澤大学応用地理研究所 ³⁾BSAC Japan

サンゴ礁を学びサンゴ礁に負荷をかけないスノーケリング/スキンドビングプログラムの提供を目指して 喜界島サンゴ礁科学研究所×BSAC

潜在的にサンゴ礁保護への意識が高いインストラクター及びダイビング等の講習受講者

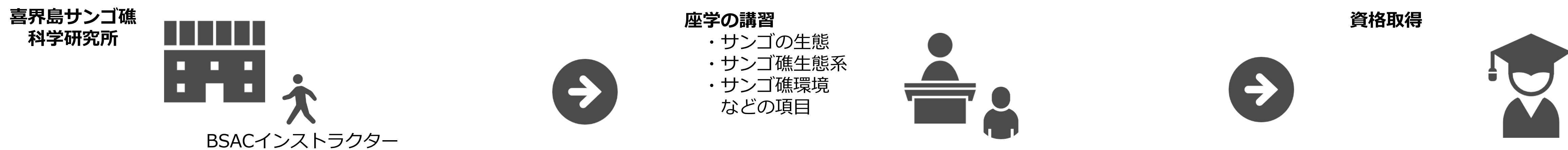
海のレジャーとして、スノーケリングやスキンドビングは多くの愛好者が存在する。その愛好者や指導する立場のインストラクターは、サンゴ礁の保護や保全に積極的な意思を有している場合が多い。そこで、発表者らは潜水士同団体であるBSAC Japanのインストラクターを対象として、サンゴ礁の保護に関する意識のアンケート調査を実施した(回答数100人)。その結果、回答者の97%がサンゴ礁保護に関心を有し、72%の回答者がサンゴ礁の保護の必要性をゲストから感じると回答した。そのなかで、サンゴ礁保護に関して常に受講生に指導しているという回答は42%に留まった。また、「スノーケラーやスキンドバイバーに、サンゴ礁をまもるための教材やシステムがあると利用してみたいと思いますか?」の問いには、ぜひ利用したい・内容によっては利用したいとの回答が88%を占めた(右図)。この結果から、インストラクターはスノーケラーなどを対象として、潜在的にサンゴ礁保護のプログラムの必要性と需要が存在することが推測できる。これらの結果から、発表者らはスノーケラーとスキンドバイバーを対象とした新たなサンゴ礁の保護に資するプログラムの開発に着手した。

BSAC Japanのインストラクター100人のアンケート回答集計



認定プログラムの想定

① コーラルスノーケラー・コーラルスキンドバイバーを育成できるインストラクターの開発



喜界島サンゴ礁科学研究所の研究者からコーラルスノーケラー・コーラルスキンドバイバー受講に必要な座学の講習を受けて、認定資格を得る。
※受講前資格として、有効なBSACインストラクター資格を保有している事。※オンラインでの受講も可能。

② 有資格者がコーラルスノーケラー・コーラルスキンドバイバーのトレーニングを開催してCカードを認定



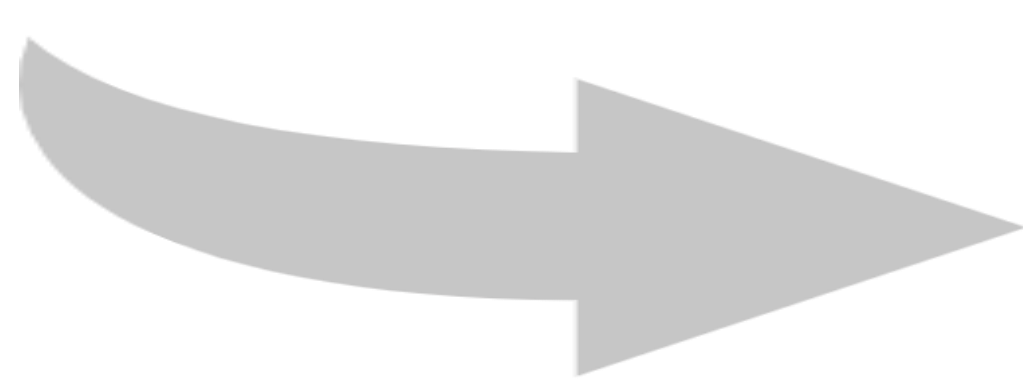
①で資格を取得したインストラクターからコーラルスノーケラー・コーラルスキンドバイバーの講習が受講できる。講習では、サンゴを壊してしまわないように、簡単なサンゴの見分け方などを覚える。認定を受けてCカードを申請すると、BSAC Japan 事務局からCカードが発行される。

《BSACが発行しているCカード》



スノーケラー・スキンドバイバーのCカード

スクーバダイバーの各種Cカード



認定者には『コーラルスノーケラー』『コーラルスキンドバイバー』のオリジナルデザインのカードを発行予定 ※こちらは仮デザインです。

コーラルスノーケラー/コーラルスキンドバイバーの認定プログラム構築で目指すもの

このプログラムでは、潜水指導団体によるスノーケリングとスキンドビングの認定プログラムにおいて、受講者がサンゴ礁保護に関する知識と技術を修得するとともに、受講者がサンゴ礁の保護に参与する意思を形として表す手段としての普及を想定する。また、この認定プログラムは、個人のプログラム受講だけではなく、サンゴ礁保護活動や保全における普及啓発のツールとしての展開を想定する。たとえば、修学旅行のアクティビティや大学のゼミ研修などにおいて、海のレジャー体験+サンゴ礁環境の理解と保護に関する学習機会や、企業や行政などの研修の機会として本プログラムを活用も考えられる。また、ダイビングショップ側も、通常のスノーケル、スキンドビングのプログラムの提供に加え、高付加価値の指導プログラムとしてコースの多様化と、環境に対する意識が高い客層の取り込みを見込むことができる。さらに、スキンドバイバーらは将来のダイバーとしての潜在性が高く、サンゴの現状を知り何らかの保全活動に関わることで、いずれダイビングを始めた際にサンゴ礁環境に負荷を与えない行動の実践や活動への参画が期待できる。本プログラムが、新たなサンゴ礁保護に資するプログラムとなる事を目指し、今後の制度設計と実現に向けた検討を継続する。